

# 東日本大震災 MSW 災害支援ニュース

2011年4月14日 第1巻(第5号)



日本医療社会福祉協会 (03) 5366-1057

東日本大震災 災害対策本部 (03) 3351-5038



## 1. 活動報告

- 現地より
- 1 石巻市より

現在、石巻市の遊楽館という避難所を中心としてボランティア活動を行っています。PCAT(プライマリ学会)が今後の遊楽館における診療の中核になっていく方向性で、PCATのDrとSW業務との分担を話し合っています。元々あった石巻市立病院Drや看護部の手書きのメモ的な記録を基に、避難している方々(約120名ほど)の基礎記録を作成しました。Drが問診を行い、福祉的なニーズがあると思われる方においては、MSWがインテークをとるということが合意事項となっています。また、今後の新規入所者は、Nsがアナムネを作成、その後、MSWはインテークを行う流れで調整をしています。

更に先遣隊の草水氏(4月2日~10日)より、9日間の任務を終え、以下の様なメールが届きました。「先遣隊の任務を終え、11日午前3時に帰京しました(4月2日~10日)。9日に任務を終える予定でした。しかし、避難所以外で暮らす被災者の医療介護ニーズの全容がつかめていませんでした。被災より1カ月経過しても被災者の状況が分からないということは、非常に深刻な事態であり、時間的要素を意識し、早急に対応策を講じる必要性を感じました。急遽、調査本部のメンバーにMSWが抜擢され、48時間後の調査に向けて準備が開始されました。県や市役所の機能もパンク寸前ということから、遊楽館にかかわる有志(医師・看護師・MSW・地元の地域包括支援センターの職員さん等)が市役所のバックアップを得て、ローラー作戦を計画・実施しました。3つのエリアを石巻市役所の保健師に選定してもらい、約1200世帯を68人の調査員を動員して医療介護ニーズの調査をしました。当協会からは、現地ボランティア(草水・前田・櫻井)と笹岡会長、坪田氏、佐原氏など計8名が、参加しました。

避難所への支援も十分とはいえない状況ですが、さらに深刻な集団として、在宅には、支援が届きにくい人がいると言う情報をキャッチしていました。適切な対応をするためには、早急に現状把握し対応していく必要がありました。

震災後の健康度の低下が懸念される人、また、治療が必要であるものの、主治医が被災し治療中断している人など、様々な状況が想定されました。この調査で、保健医療のみならず被災者の多様な生活ニーズ把握ができました。サンプル数として、被災者のほんの一部であることから、今週末には、より大掛かりなローラー作戦として、第2回目の調査を実施することになりました。

この調査で得られたデータは、医療介護に特化したデータですが、調査員のフリーハンドの欄には、

被災後の体調の変化や生活ニーズが記載されています。集計・分析し具体的な支援につなげると同時に、石巻市や宮城県の行政にもお渡しして有効活用していただく予定です。体はヘトヘトですが、一日滞在を延長してよかったという実感があります。

石巻市立病院の MSW 佐々木さんから、石巻市を一望できる高台に位置する日和山公園に案内していただきました。地震の被害というよりは、津波の爪痕です。まるで、空襲の跡のように跡形もない市内を一望した時、茫然自失でした。そして、被害の大きかったエリアを自動車で廻りました。皆様に現状を伝えるのも私の仕事だと思ってカメラを持って行きましたが、そんな気にはなれず、一枚も写すことができませんでした。

現地に入ると、人として、専門職として、何をすべきかが見えてきます。どうぞ、事情が許す皆さん、現地へ出向いてみてください。私たちがしなければならないことが見えてきます。その一つとして、被災地の人の力を信じ、現地の専門職が疲弊しないように、専門職を後方支援していくことの重要性を実感しています。」

## 2 仙台市より

他職種と一緒にあたる上での難しさも多いようです。「なんでもこなす！」気持ちであたる必要があります。車での移動が必須！車ごと来られる方に、お願いしたいとのことです。

## 3 事務所より

細かい仕事がたくさんあります。ボランティア募集をしています（下記詳細）。今後とも宜しくお願い致します。

## 2. 今後の活動の予定

4月15（金）16（土）17日（日）に石巻市内の要介護者、在宅医療必要者スクリーニングプロジェクト第2弾を行います。各日100名のボラ募集中です。詳細はこちらに。

## 3. ボランティア募集について

4月14日（木）現在、現地ボランティアは65名、事務所ボランティアは40名のご応募を頂いております。今後も引き続き人員が必要となっていくしますので、ご協力して頂ける方は日本医療社会福祉協会 災害対策本部までご連絡下さい。

現地ボランティアは宮城県石巻市、仙台市への派遣を行っています。どちらも、ご自分で車の手配（自家用車・レンタカーなどを手配し、運転出来ること）の出来る方、引き継ぎの関係で最低3日以上、現地入り可能な方が必須条件となります。

事務所ボランティアは、電話対応や事務処理、現地とのやりとりが中心となります。継続していただける方のご協力お願い致します。

メールでのご連絡の際は、件名に「(現地) (事務所) ボランティア希望」と記載の上、お願い致します。

日々刻々と現地の状況は変化しています。皆様のご協力が必要です。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。